

第2回当別町総合計画審議会 要旨

1 日時 令和8年9月30日(水) 15時00分から17時00分

2 場所 当別町役場第2庁舎 2階会議室

3 出席者

下段委員、浅野委員、和田委員、松岡(良)委員、宮永委員、後藤委員、喜多委員、高橋委員、佐藤委員、多久委員 (10/17 人出席)

4 町出席者

企画部長 山田雅俊、企画課長 星野寿幸、企画係長 高田龍一

5 傍聴者 なし

6 審議会要旨

(1) 当別町長挨拶

本日はご多忙の中、第2回当別町総合計画審議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。委員の皆様には、本町の将来を左右する重要な計画の策定にあたりまして各分野より貴重なご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

当別町は現在大きな転換点を迎えていると感じております。北海道医療大学の移転は町にとって大きな影響を及ぼす出来事ではありますが、それを単なる危機ではなく、当別町の未来を切り拓くための転機とすべく、令和9年度を始期とする総合計画の策定を進めているところであります。現行計画策定以降、とうべつ学園の開校やロイズタウン駅の開業など、町の可能性を広げる取り組みが進んでまいりました。さらに北海道バレー構想や副首都構想など、北海道全体の未来を左右する大きな変化が生まれているというように感じております。この変化の中で当別町が新たな役割を担えると考えており、札幌圏に位置する土地、豊かな自然や農業や教育といった資源を活かし、人を育て、新しい技術や産業を実証し、地域課題の解決モデルを見出す町を目指したいと考えております。

一方で人口減少という現実は避けられないと考えております。しかし、近年は社会増の傾向も見られ、地方への関心の高まりなど、新たな可能性も生まれているというように感じております。大切なことは人口の増減に一喜一憂するのではなく、人口減少社会の中でも町の機能を維持し、暮らしの質を高め、次の世代へ持続可能な地域を引き継いでいくことを考えております。

この総合計画を単なる行動計画ではなく、町民の皆様と共有する未来への約束として考えています。その中で、何を諦めるのかではなく、何に挑戦するのかを定める必要があると捉えており、大学移転後の当別町を守るだけではなく、新しい価値へと進化させていく、その挑戦の先頭に立つ責任は町長にあると自覚し本日この場に臨んでおります。

委員の皆様におかれましては、それぞれの専門的な知見や経験から率直なご意見をいただきたいと思っておりますし、当別町の未来をどう作るのか、次の世代に何を残してい

けるのかという視点でご協議を賜りたいと考えております。その答えを皆様とともに考え、希望ある未来につなげる総合計画を策定したいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

(2)当別町第7次総合計画（素案）の諮問

当別町長より下段会長へ諮問書を手交

※町長においては、別用務により退席

（議題）

(3)当別町第7次総合計画（素案）について

事務局より資料1、1-2、1-3をもとに説明。（説明：星野課長、高田係長）

（宮永委員）

町民アンケートの実施状況について、回答数が200件程度であるが、十分とは言えないのではないか。

（事務局）

今回のアンケートはオンライン方式で実施しており、広報や町のSNSを通じて周知を行ったところである。回答数は当然ながら多い方が望ましいが、サンプル数としては一定の意義があるものと考えている。また、今回のアンケートの他、人口ビジョン策定時や、こども計画策定時のアンケートもあることから、それらも踏まえて参考としている。

（宮永委員）

10ページに記載されている基本施策や分野別施策について、現行計画から大きな変更はないのか。

（事務局）

基本構想については町が行う方向性を示すものであり、ある程度決まった内容という部分もあるが、より具体的に推進させていく内容については総合戦略編にて記載をしている

（宮永委員）

北海道医療大学の移転について、すでに決定していることなので具体的に記載しなくて良いのか。

（事務局）

基本構想の特性上、詳細に記載することは難しい。ただし、総合戦略編の中で企業誘致の促進など、医療大学移転の影響に対する内容を記載している。

（宮永委員）

観光に関するKPIについて、当初目標としている部分は達成していると感じているが、さらに高い目標を設定して大丈夫か。

(事務局)

担当課としては各施策を推進し、さらに高い目標に向かっていくことを目標としている。

(和田委員)

10 ページの「町の将来像」について、過去の計画ではどのように決めていたのか。

(事務局)

審議会の中でもご意見をいただきながら作成した。

(和田委員)

大学内においては移転にあたり、改めて存在価値や理念について議論しているところ。町においても、住民が町の良いところや、当別町がどのような町であるかを語ることができるような良いものを作ることができれば良いと考えている。その中で、町の将来像については重要であると考えてるので、この会議の中でも議論して、良いものが設定できればと考えている。

(事務局)

アンケートで町民が考える町のイメージについて意見を募ったところ。それらを参考にしながら、本審議会でも議論を深めていき、良いものを作成できればと考える。

(後藤委員)

総合戦略の様々な取組について、従来から引き継がれるものもあると思うが、時代に合わなくなっている内容の修正などについては、この会議で意見を出していくこととなるのか。

(事務局)

総合戦略推進委員会という別の会議があり、そこで毎年の進捗状況を報告し意見をいただいているところ。本審議会においても意見をいただき、必要な部分については反映していく。

(後藤委員)

64 ページの子育て関係の部分で、公共賃貸住宅 (COCOTTO) の入居率という KPI があるが、重点施策の取り組みとしてはピンポイントすぎるように感じる。子育て世代を増やすという内容であれば、もっと多くの人に裨益する内容とすべきでは。

(事務局)

子育て世帯向けの住宅が少ないという従来からの課題があり、その問題に対して取り組んできた経緯がある。ご指摘の内容についてはその通りであるとも考えるため、担当課との調整を進める。また、住宅全般に関しては別の項目で記載している部分がある。COCOTTO に関しては子育て世帯向けということから 64 ページに記載しているが、ご意見を踏まえ調整を進める。

(松岡(良)委員)

団体ヒアリングについては、資料の内容が全てか。また、各団体の回答者はどのような立場の方が行ったのか。

(事務局)

資料内容については概要版であり要約した内容となっている。回答者については団体のトップや実務担当者など、団体によって異なる。

(松岡(良)委員)

人材不足が課題となっているが、医療系人材についても同様な状況。町としての支援が実施可能かを検討してもらうことはできないか。

(事務局)

医療人材不足に対しては、介護人材確保対策事業とともに補助制度を開始したと聞いている。具体的な内容については後日担当課に確認し回答差し上げる。

(佐藤委員)

策定スケジュールの中に議会への報告が入っているが、すでに終わっているか。

(事務局)

現時点ではスケジュールのみ報告を行っている。素案については今後報告する予定である。

(佐藤委員)

スウェーデンとのつながりなどのまちづくりは当別町にとって大きな特色であり、そういった要素や国道 337 号を活用したまちづくりについても考えていってはどうか。

(事務局)

スウェーデン文化については、観光の面で北欧文化を活かした取組を総合戦略の中にも位置付けており、引き続き進めていく考え。また、国道については 337 号に加え 275 号も含め企業誘致を進めていくことについて記載している。

(宮永委員)

人口は減少しているが、世帯数が増えているのはなぜか。

(事務局)

人口は自然減の傾向は継続しているが、近年は社会増になっていることが要因として挙げられるのではと考える。

(松岡(良)委員)

企業誘致には以前から取り組んでいるが、町としてどのような業種やどのような場所に誘致したいかという考えはあるか。

(事務局)

町には工業団地がないため、大きな企業を誘致することが難しいという課題がある。そのなかで、アンケート結果にもあったように太美地区にスーパー等が少ないという課題もあり、ドラッグストアを中心に誘致活動を行ってきたところ。

(高橋委員)

障がいのある方への教育や、増加している外国人に対しての教育、また、不登校になる子どもへの対応について実態は把握しているか。

(事務局)

外国人については約４年前から急激に増加した。北海道教育委員会にも相談し、外国人支援ということで専用教員を派遣いただいた。また、町でも予算措置し外国人教育のため３名の教員を配置した。不登校については支援センターを本町地区と太美地区と２カ所に設置している。道内では約６割の自治体が未設置であるなか、当別町は２カ所設置し対応を進めているところ。

(下段会長)

ご意見は他にもあろうかと思いますが、本日の会議での議論はここで終了させたいと思います。発言しきれなかった内容については別途事務局までご連絡をいただきたい。

(4)次回開催日程について

事務局より資料２をもとに説明（説明：高田係長）

11月9日(月)15時からの開催を予定している。

(5)その他

会議内でご発言しきれなかった意見については、別途意見書にて承る。10月9日(金)までの提出をお願いします。

以上